



AMUSE



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月15日

上場会社名 株式会社アミューズ 上場取引所 東
 コード番号 4301 URL https://www.amuse.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中西 正樹
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 鈴木 啓太 MAIL amuseir@amuse.co.jp
 定時株主総会開催予定日 2024年6月23日 配当支払開始予定日 2024年6月24日
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無： 有
 決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	54,813	4.4	1,367	△56.6	1,777	△47.4	391	△76.9
2023年3月期	52,497	35.5	3,153	9.5	3,379	20.7	1,692	8.2

(注) 包括利益 2024年3月期 317百万円 (△87.4%) 2023年3月期 2,511百万円 (58.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	営業収入 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	23.61	—	1.2	3.0	2.5
2023年3月期	100.61	—	4.9	6.3	6.0

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 179百万円 2023年3月期 174百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	58,904	37,500	56.9	2,019.28
2023年3月期	58,294	37,581	59.0	2,075.82

(参考) 自己資本 2024年3月期 33,524百万円 2023年3月期 34,389百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	△313	△1,729	△732	29,692
2023年3月期	10,002	△1,957	△2,933	32,163

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00	678	39.8	1.9
2024年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00	678	169.4	2.0
2025年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00		189.8	

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	9.5	1,700	24.3	1,800	1.3	350	△10.6	21.08

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

新規 一社 （社名） 一、除外 一社 （社名） 一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期	18,623,520株	2023年3月期	18,623,520株
----------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年3月期	2,021,529株	2023年3月期	2,056,659株
----------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数

2024年3月期	16,586,741株	2023年3月期	16,826,625株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 期末自己株式数には、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式（2024年3月期364,280株、2023年3月期399,530株）が含まれております。

また、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2024年3月期379,600株、2023年3月期328,968株）。

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	33,944	△6.9	△588	—	△478	—	△615	—
2023年3月期	36,465	29.4	1,282	△32.0	1,465	△28.0	888	△10.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	△37.08	—
2023年3月期	52.77	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	42,345	28,141	66.5	1,695.08
2023年3月期	45,635	30,178	66.1	1,821.65

(参考) 自己資本 2024年3月期 28,141百万円 2023年3月期 30,178百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 6「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

1. 決算補足説明資料はT D n e t 及び当社ウェブサイトに同日公開しております。
2. 当社は、2024年5月23日（木）に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会にて使用する決算補足説明資料は、開催後、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	5
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	5
(4) 今後の見通し	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
連結損益計算書	9
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. その他	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	増減	増減率 (%)
営業収入	52,497	54,813	2,315	4.4
営業利益	3,153	1,367	△1,785	△56.6
経常利益	3,379	1,777	△1,602	△47.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,692	391	△1,301	△76.9

〔経済状況〕

当連結会計年度のわが国経済は、雇用や所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり緩やかな回復が続くことが期待されました。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなりました。また、物価上昇や中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に加えて、令和6年能登半島地震の経済に与える影響についても注視する必要性がありました。

〔当社グループの事業概況〕

当社グループの経営成績は営業収入548億1千3百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益13億6千7百万円（前年同期比56.6%減）、経常利益17億7千7百万円（前年同期比47.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益3億9千1百万円（前年同期比76.9%減）となりました。

当連結会計年度においては、サザンオールスターズ45周年記念の活動による売上の増加や株式会社極東テレビの株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことによる番組制作収入の増加等により営業収入は増収となりました。一方で、営業利益については、事業費補助金が減少したことに伴う費用負担の増加に加え、新規事業開発でのコストの増加等により減益となりました。経常利益については、「持分法による投資利益」の計上及び「保険解約返戻金」の計上等はあったものの、営業利益の減益要因により減益となりました。親会社株主に帰属する当期純利益については、子会社ののれんや事業撤退に伴う「減損損失」の計上等により減益となりました。

<営業収入>

- ・ グッズ・商品収入が増加
- ・ FC会員収入が増加
- ・ 印税収入が増加
- ・ 番組制作収入が増加
- ・ 映像製作収入が増加
- ・ コマーシャル収入が増加
- ・ イベント収入が減少

<営業利益>

事業費補助金が減少したことに伴う費用負担の増加に加え、新規事業開発でのコストの増加等により減益となりました。

<経常利益>

「持分法による投資利益」の計上及び「保険解約返戻金」の計上等はあったものの、営業利益の減益要因により減益となりました。

<親会社株主に帰属する当期純利益>

子会社ののれんや事業撤退に伴う「減損損失」の計上等により減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(営業収入)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	増減	増減率 (%)
イベント関連事業	32,510	31,626	△883	△2.7
音楽・映像事業	14,452	16,887	2,435	16.8
出演・CM事業	5,535	6,299	764	13.8
合計	52,497	54,813	2,315	4.4

(セグメント利益又は損失(△))

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	増減	増減率 (%)
イベント関連事業	473	△135	△609	—
音楽・映像事業	1,938	965	△973	△50.2
出演・CM事業	741	538	△203	△27.4
調整額	—	—	—	—
合計	3,153	1,367	△1,785	△56.6

【イベント関連事業】

営業収入316億2千6百万円（前年同期比2.7%減）、セグメント損失1億3千5百万円（前年同期は4億7千3百万円のセグメント利益）となり、減収減益となりました。

【主な事業】

- ・ イベント収入：＜コンサート＞

ポルノグラフィティ、BABYMETAL、SEKAI NO OWARI、Perfume、大泉洋、NOA、BEGIN、神はサイコロを振らない、Skoop On Somebody、桜田通、Dios、折坂悠太のコンサートツアー

サザンオールスターズ、福山雅治、FLOW、DEAN FUJIOKAのコンサート

＜舞台・公演＞

熱海五郎一座「幕末ドラゴン〜クセ強オンナと時をかけない男たち〜」

若手俳優による「SUPER HANDSOME LIVE 2024」

ミュージカル「FACTORY GIRLS〜私が描く物語〜」

舞台「幾つの大罪〜How many sins are there?〜」

ミュージカル「ヴァグラント」

s**t kingz「Dance Live in 日本武道館 THE s**t」

ミュージカル「ミア・ファミリア」

ミュージカル「ボディガード」

- ・ 商品売上収入：コンサートグッズなど

- ・ ファンクラブ収入：サザンオールスターズ、福山雅治、星野源、Perfume、ポルノグラフィティなど

＜営業収入＞

- ・ イベント収入の減少

(前年同期は桑田佳祐、福山雅治、SEKAI NO OWARIのコンサートツアー、ブロードウェイミュージカル「キンキーブーツ」など)

上記要因などにより減収となりました。

＜セグメント損失＞

イベント制作費の増加や山梨県における新規事業損失（5億2千7百万円の損失）等により減益となりました。

[音楽・映像事業]

営業収入168億8千7百万円（前年同期比16.8%増）、セグメント利益9億6千5百万円（前年同期比50.2%減）となり、増収減益となりました。

[主な事業]

- ・ 印税収入（新譜・旧譜）：桑田佳祐、サザンオールスターズ、福山雅治、ポルノグラフィティ、星野源など
- ・ レーベル収入：BABYMETALのライブBlu-ray&DVDなど
- ・ 番組制作収入：単発番組の制作受託など
- ・ 映像製作収入：映画「月の満ち欠け」の配信権、イベント興行の中継及び上映収入など
- ・ 映像作品販売収入：映画「月の満ち欠け」などのBlu-ray&DVD販売収入

<営業収入>

- ・ 印税収入（旧譜）が増加
- ・ 番組制作収入が増加
- ・ 映像製作収入が増加
- ・ レーベル収入が減少

（前年同期は福山雅治、まふまふのライブBlu-ray&DVDなど）

上記要因などにより増収となりました。

<セグメント利益>

レーベル収入の減収により減益となりました。

[出演・CM事業]

営業収入62億9千9百万円（前年同期比13.8%増）、セグメント利益5億3千8百万円（前年同期比27.4%減）となり、増収減益となりました。

[主な事業]

- ・ 出演収入・CM収入：福山雅治、大泉洋、ホラン千秋、仲里依紗、安田顕、星野源、吉高由里子、吉沢亮、サザンオールスターズ、BEGIN、三宅裕司、寺脇康文、DEAN FUJIOKA、桜田通、Perfume、堀田真由、三吉彩花、清原果耶、小関裕太など

<営業収入>

出演収入及びCM収入の増加により増収となりました。

<セグメント利益>

出演収入及びCM収入に係る営業原価の増加により減益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

	前連結会計年度 2023年3月期	当連結会計年度 2024年3月期	増減額
総資産 (百万円)	58,294	58,904	610
純資産 (百万円)	37,581	37,500	△81
自己資本比率 (%)	59.0	56.9	△2.1
1株当たり純資産 (円)	2,075.82	2,019.28	△56.54

(総資産)

当連結会計年度末の総資産は589億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億1千万円増加いたしました。主な増加要因は、投資その他の資産「投資有価証券」の減少はありましたが、流動資産「受取手形及び営業未収入金」及び「仕掛品」の増加によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末の負債は214億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億9千1百万円増加いたしました。主な増加要因は、流動負債「営業未払金」の増加によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は375億円となり、前連結会計年度末に比べ8千1百万円減少いたしました。主な減少要因は、「その他有価証券評価差額金」の減少によるものであります。この結果、自己資本比率は56.9%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(単位：百万円)

	前連結会計年度 2023年3月期	当連結会計年度 2024年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,002	△313	△10,316
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,957	△1,729	228
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,933	△732	2,200
現金及び現金同等物の期末残高	32,163	29,692	△2,471

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ24億7千1百万円減少し、当連結会計年度末には296億9千2百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は下記のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は3億1千3百万円（前年同期は100億2百万円の獲得）となりました。これは、主にその他の流動負債の減少及び営業債権の増加による資金減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は17億2千9百万円（前年同期は19億5千7百万円の使用）となりました。これは、主に有形固定資産の取得及び連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による資金減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は7億3千2百万円（前年同期は29億3千3百万円の使用）となりました。これは、主に配当金の支払による資金減少要因によるものであります。

(4) 今後の見通し

当連結会計年度については、サザンオールスターズ45周年記念の活動による売上の増加や株式会社極東テレビの株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことによる番組制作収入の増加等により営業収入は増収となりました。一方で、新型コロナウイルス感染症の収束に伴い事業費補助金が減少したことによる費用負担の増加に加え、新規事業開発でのコストの増加等、子会社ののれんや事業撤退に伴う「減損損失」の計上等により営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益はともに減益となりました。

また、翌連結会計年度についてはコンサート、舞台公演等の増加に伴い増収の見通しですが、東京オフィスの再編に伴う特別損失を見込んでおり親会社株主に帰属する当期純利益は減益の見通しとなっております。

以上を踏まえた当社グループの次期の業績見通しは、営業収入600億円（前年同期比9.5%増）、営業利益17億円（前年同期比24.3%増）、経常利益18億円（前年同期比1.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益3億5千万円（前年同期比10.6%減）を計画しております。

アーティストの才能開発、オリジナル作品やコンテンツの開発、テクノロジーを起点としたサービス開発を通じて、中長期的な収益力の向上に努めてまいります。

(単位：百万円)

	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	翌連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	増減	増減率 (%)
営 業 収 入	54,813	60,000	5,186	9.5
営 業 利 益	1,367	1,700	332	24.3
経 常 利 益	1,777	1,800	22	1.3
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 当 期 純 利 益	391	350	△41	△10.6

※上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,679	30,486
営業未収入金	8,635	—
受取手形及び営業未収入金	—	10,004
商品及び製品	1,170	1,402
仕掛品	762	1,313
原材料及び貯蔵品	156	151
未収入金	2,180	1,812
その他	890	1,180
貸倒引当金	△167	△37
流動資産合計	46,308	46,314
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,353	2,354
土地	1,028	1,045
リース資産（純額）	8	5
その他（純額）	871	1,020
有形固定資産合計	4,261	4,427
無形固定資産		
のれん	226	449
その他	635	590
無形固定資産合計	862	1,039
投資その他の資産		
投資有価証券	5,582	4,773
繰延税金資産	319	1,023
その他	1,067	1,452
貸倒引当金	△107	△127
投資その他の資産合計	6,862	7,123
固定資産合計	11,985	12,590
資産合計	58,294	58,904

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	11,740	13,740
1年内返済予定の長期借入金	46	53
1年内償還予定の社債	—	40
リース債務	6	5
未払法人税等	652	432
役員賞与引当金	36	4
従業員株式給付引当金	32	14
その他	6,460	5,168
流動負債合計	18,974	19,459
固定負債		
社債	—	90
長期借入金	206	191
リース債務	3	1
役員株式給付引当金	74	107
退職給付に係る負債	1,437	1,499
その他	14	54
固定負債合計	1,737	1,945
負債合計	20,712	21,404
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,587	1,587
資本剰余金	2,284	2,284
利益剰余金	31,855	31,578
自己株式	△2,931	△2,858
株主資本合計	32,796	32,593
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,400	583
為替換算調整勘定	141	269
退職給付に係る調整累計額	51	77
その他の包括利益累計額合計	1,592	931
非支配株主持分	3,191	3,975
純資産合計	37,581	37,500
負債純資産合計	58,294	58,904

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業収入	52,497	54,813
営業原価	43,749	47,193
営業総利益	8,748	7,619
販売費及び一般管理費	5,595	6,251
営業利益	3,153	1,367
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	12	6
持分法による投資利益	174	179
為替差益	13	12
保険解約返戻金	—	138
補助金収入	45	6
その他	19	78
営業外収益合計	269	426
営業外費用		
支払利息	3	4
事業組合投資損失	0	11
自己株式取得費用	32	—
その他	7	1
営業外費用合計	43	17
経常利益	3,379	1,777
特別利益		
固定資産売却益	288	14
投資有価証券売却益	—	0
関係会社清算益	3	—
特別利益合計	292	15
特別損失		
投資有価証券評価損	10	18
投資有価証券売却損	—	5
関係会社株式評価損	1	2
関係会社株式売却損	141	—
貸倒損失	—	89
減損損失	—	368
公演中止損失	36	—
特別損失合計	190	483
税金等調整前当期純利益	3,482	1,308
法人税、住民税及び事業税	1,017	677
法人税等調整額	163	△347
法人税等合計	1,180	329
当期純利益	2,301	979
非支配株主に帰属する当期純利益	608	587
親会社株主に帰属する当期純利益	1,692	391

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	2,301	979
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	81	△816
為替換算調整勘定	127	128
退職給付に係る調整額	0	26
その他の包括利益合計	210	△661
包括利益	2,511	317
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,903	△270
非支配株主に係る包括利益	608	587

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,587	2,284	31,149	△1,249	33,772
当期変動額					
剰余金の配当			△1,048		△1,048
親会社株主に帰属する当期純利益			1,692		1,692
自己株式の取得				△1,687	△1,687
自己株式の処分		0		5	5
持分法適用会社の増加に伴う利益剰余金の増加高			61		61
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	0	706	△1,681	△975
当期末残高	1,587	2,284	31,855	△2,931	32,796

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,318	13	50	1,382	2,606	37,761
当期変動額						
剰余金の配当						△1,048
親会社株主に帰属する当期純利益						1,692
自己株式の取得						△1,687
自己株式の処分						5
持分法適用会社の増加に伴う利益剰余金の増加高						61
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	81	127	0	210	585	795
当期変動額合計	81	127	0	210	585	△180
当期末残高	1,400	141	51	1,592	3,191	37,581

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,587	2,284	31,855	△2,931	32,796
当期変動額					
剰余金の配当			△678		△678
親会社株主に帰属する当期純利益			391		391
連結範囲の変動			10		10
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分				73	73
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	△276	73	△203
当期末残高	1,587	2,284	31,578	△2,858	32,593

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	1,400	141	51	1,592	3,191	37,581
当期変動額						
剰余金の配当						△678
親会社株主に帰属する当期純利益						391
連結範囲の変動						10
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						73
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△816	128	26	△661	783	122
当期変動額合計	△816	128	26	△661	783	△81
当期末残高	583	269	77	931	3,975	37,500

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,482	1,308
減価償却費	421	535
のれん償却額	23	65
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△14	△109
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	5	△32
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	16	47
従業員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	21	40
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	64	41
受取利息及び受取配当金	△16	△11
持分法による投資損益 (△は益)	△174	△179
事業組合投資損益 (△は益)	0	11
有形固定資産売却損益 (△は益)	△288	△14
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	4
投資有価証券評価損益 (△は益)	10	18
関係会社株式売却損益 (△は益)	141	—
関係会社株式評価損	1	2
減損損失	—	368
営業債権の増減額 (△は増加)	△3,828	△958
棚卸資産の増減額 (△は増加)	650	△250
営業債務の増減額 (△は減少)	5,065	1,698
未払消費税等の増減額 (△は減少)	435	△16
未収入金の増減額 (△は増加)	711	367
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△21	△336
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	2,142	△1,194
その他	1,400	△876
小計	10,248	530
利息及び配当金の受取額	19	11
利息の支払額	△3	△4
法人税等の還付額	379	—
法人税等の支払額	△642	△851
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,002	△313
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,000	△1,132
定期預金の払戻による収入	1,000	1,080
有形固定資産の取得による支出	△1,588	△588
有形固定資産の売却による収入	664	22
無形固定資産の取得による支出	△383	△216
敷金及び保証金の差入による支出	—	△261
敷金及び保証金の回収による収入	32	7
関係会社株式の取得による支出	△400	△126
投資有価証券の取得による支出	△189	△380
投資有価証券の売却による収入	—	42
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△55	△567
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△129	—
貸付けによる支出	—	△0
貸付金の回収による収入	179	66
その他	△88	325
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,957	△1,729
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△133	△55
社債の発行による収入	—	100
社債の償還による支出	—	△20
自己株式の取得による支出	△1,692	△0
配当金の支払額	△1,045	△677
非支配株主への配当金の支払額	△54	△72
その他	△6	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,933	△732
現金及び現金同等物に係る換算差額	87	119
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,199	△2,656
現金及び現金同等物の期首残高	26,964	32,163
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	184
現金及び現金同等物の期末残高	32,163	29,692

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループはコンテンツを生み出すアーティストを発掘・育成し、彼等に様々な形での創作活動を行う機会と場所を提供し、支援することでコンテンツを創出するとともに、外部の優良なコンテンツを探し出しております。

そしてそのコンテンツをより多く保有し、有効に活用して事業展開することを基本方針としております。その事業の内容に応じて、「イベント関連事業」「音楽・映像事業」「出演・CM事業」として分類しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部営業収入又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額
	イベント関連 事業	音楽・映像 事業	出演・CM 事業	計		
営業収入						
イベント収入	20,481	—	—	20,481	—	20,481
ファンクラブ・商品売上収入	12,028	—	—	12,028	—	12,028
音楽収入	—	8,780	—	8,780	—	8,780
映像収入	—	4,981	—	4,981	—	4,981
その他音楽・映像収入	—	691	—	691	—	691
出演・CM収入	—	—	5,535	5,535	—	5,535
顧客との契約から生じる収益	32,510	14,452	5,535	52,497	—	52,497
外部顧客への営業収入	32,510	14,452	5,535	52,497	—	52,497
セグメント間の内部営業収入 又は振替高	101	122	1	225	△225	—
計	32,611	14,575	5,537	52,723	△225	52,497
セグメント利益	473	1,938	741	3,153	—	3,153
その他の項目						
減価償却費	306	80	35	421	—	421

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額
	イベント関連 事業	音楽・映像 事業	出演・CM 事業	計		
営業収入						
イベント収入	19,528	—	—	19,528	—	19,528
ファンクラブ・商品売上収入	12,098	—	—	12,098	—	12,098
音楽収入	—	8,756	—	8,756	—	8,756
映像収入	—	7,634	—	7,634	—	7,634
その他音楽・映像収入	—	496	—	496	—	496
出演・CM収入	—	—	6,299	6,299	—	6,299
顧客との契約から生じる収益	31,626	16,887	6,299	54,813	—	54,813
外部顧客への営業収入	31,626	16,887	6,299	54,813	—	54,813
セグメント間の内部営業収入 又は振替高	755	144	6	906	△906	—
計	32,381	17,032	6,306	55,720	△906	54,813
セグメント利益又は損失(△)	△135	965	538	1,367	—	1,367
その他の項目						
減価償却費	387	98	49	535	—	535

- (注) 1. 報告セグメントに帰属しない全社費用の金額は、各報告セグメントの金額に按分しております。
 2. 当社グループでは、資産及び負債を報告セグメント別に配分していないため、セグメント資産及びセグメント負債の記載は省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額(円)	2,075.82	2,019.28
1株当たり当期純利益(円)	100.61	23.61

- (注) 1. 「1株当たり純資産額」の算定上、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式を、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております(前連結会計年度399,530株、当連結会計年度364,280株)。
 2. 「1株当たり当期純利益」の算定上、「役員報酬BIP信託」及び「株式付与ESOP信託」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前連結会計年度328,968株、当連結会計年度379,600株)。
 3. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 4. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	1,692	391
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に 帰属する当期純利益(百万円)	1,692	391
期中平均株式数(株)	16,826,625	16,586,741

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 減損損失

前連結会計年度 (2022年4月1日 至 2023年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (2023年4月1日 至 2024年3月31日)

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

(単位：百万円)

用途	種類	会社名	場所	減損損失
その他	のれん	株式会社未来ボックス	神奈川県横浜市	190
事業用資産	建物 有形固定資産 (その他)	株式会社アミューズ	山梨県南都留郡	177